

# 令和3年度研究成果に関する外部有識者意見聴取の結果について

令和4年(2022年)3月31日  
山口県農林総合技術センター

## 1 目的

研究成果の公表にあたり、現場での活用可能性、新規性、フォローアップや確認試験の必要性について外部有識者から幅広い視点や専門的な観点から意見を聴き、意見を踏まえた対応方向等今後の研究開発に活かす。

## 2 対象課題

令和3年度にセンター内部の完了評価を受けた単県研究課題

## 3 外部有識者の選定

1課題4名の外部有識者を次の①～④の区分から1名ずつ選定し、別添の調査票により令和4年2月に意見を聴取した。

① 学識経験者：国立大学法人 山口大学

② 他の研究機関：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター、  
国立研究開発法人森林研究整備機構 関西支所

③ 農業関係団体：全国農業協同組合連合会中四国営農資材事業所、山口県森林組合連合会

④ 消費者団体：山口県地域消費者団体連絡協議会

## 4 結果

No.	課題名	総合評価※ <sup>2</sup>	評価内訳※ <sup>1</sup> (人)		
			A	B	C
R03-01	スマートマルドリを活用したカンキツの少水・低コスト型マルドリシステム等の構築	一定の成果が得られた	1	3	0
R03-02	農薬散布用ドローンを活用したカンキツの効率・省力的防除技術体系の確立	十分な成果が得られた	2	2	0
R03-03	情報通信技術 (ICT) を活用した林業経営の効率化	一定の成果が得られた	0	4	0
R03-04	山口県に適応した早生樹の開発	一定の成果が得られた	1	3	0

### ※1 評価基準

A：山口県の生産・流通・加工等の生産現場で活用可能性が高い。

B：生産現場での確認等の普及支援を行うことにより現場で活用が可能。

C：追試や確認試験が不可欠・現場で活用可能性が低い。

### ※2 総合評価

Aが過半数の場合：十分な成果が得られた。

AとBを合計が過半数：一定の成果が得られた。

上記以外：成果が得られなかった。

### ※3 その他寄せられた主な意見等は別紙参照

## 5 その他

当センターホームページを通じて令和4年2月21日から令和4年3月11日までの間、一般県民から対象課題に関する意見募集を実施し、寄せられた意見は0件であった。